漢文入門

故事成語 ― 訓読 ―

朝三暮四

宋に狙公といふ者有り。狙を愛し、之を養ひて群れを成す。能く狙の意を解し、狙も亦公の心を得たり。其の家口を損して、狙の欲を充たせり。俄かにして匱し。将に其の食を限らんとす。衆狙の己に馴れざるを恐るるや、先づ之を誑きて曰はく、「若に芧を与ふるに、朝に三にして暮れに四にせん。足るか。」と。衆狙皆起ちて怒る。俄かにして曰はく、「若に芧を与ふるに、朝に四にして暮れに三にせん。足るか。」と。衆狙皆伏して喜ぶ。